

hino

Hino Advancement Center Newsletter

日野振興センターだより

令和2年9月発行 no.30



menu

【特集】

～奥日野の「たたら」と刃剣～

- ～防災機能の向上を目指して～
「南大山大橋」の補強工事を実施しています
- にちなん中国山地林業アカデミー「卒業生の今」
地域と農業の未来に向けて
- 日野郡中山間営農ネットワーク協議会の取組～
腰痛軽減と予防！～腰ラクラク体操のススメ～
- 日野郡で輝く人「江府町建設課 宮本 佑実さん」
- 日野川の源流と流域を守る会
日野川源流の碑がピカピカになりました
- 新型コロナウイルス又感染症
～暮らしの中で気を付けるべきこと～

奥日野の「たたら」と刀剣

全国的に刀剣がブームとなつています。各地で開催されている刀剣展には多くの人が来場されており、その人気のほどが分かります。

実は刀剣と日野郡には深い関わりがあります。ご存じのとおり、奥日野地域は、良質な砂鉄が採れ豊かな森林に恵まれていたことから、古くから「たたら製鉄」により品質の高い鉄を生産してきており、刀剣の製作に非常に適した品質の鋼(はがね)も生産していました。

奥日野のたたら製鉄

奥日野の製鉄は、隣接する奥出雲で古墳時代後期(6世紀後半頃)から始まっていることから、同じ頃には行われていたと考えられています。その後、奥日野地域では製鉄が約1000年前まで営まれ、現在でも西伯耆・奥日野地域には約600もの「たたら製鉄」の遺構を確認することができます。たたら製鉄で作られた高品質の鋼(はがね)は「伯耆鋼」「印賀鋼(いんがはがね)」といった名称で全国にその名を知られており、刀剣の材料としても使われました。



約100年以上前に作られた印賀鋼

最高品質だった奥日野産の鋼

奥日野のたたらで作られた鋼はリンや硫黄の含有量が少なく、現代金属精製技術でも再現が難しいとされている驚異的な高品質のものでした。この鋼は刀剣づくりにも非常に適したものです。

伯耆国を代表する刀剣には、平安時代の伯耆国の刀工「安綱」の手による国宝「名物童子切安綱」(東京国立博物館所蔵)や重要文化財「鬼切丸」(北野天満宮所蔵)があり、このほかに「安綱」や安綱一門の刀工により多くの刀剣が作られています。奥日野産の高品質の鋼が、日本刀の最古級の名匠と知られる「安綱」とその一門を伯耆国から輩出することにつながったのではないのでしょうか。

また、奈良県の春日大社で開催された「最古の日本刀の世界 安綱・古伯耆展」(令和元年12月28日〜令和2年3月1日)の会場に、「印賀鋼」を展示したところ、会場を訪れた来場者から、約100年以上前から変わらない美しさに驚きの声が多数ありました。

伯耆安綱と大原鍛冶ゆかりの地

童子切を作刀したとされる名匠「安綱」については、いくつかの記録や記述が残されています。このうち「太平記」には「伯耆国会見郡に大原五郎太夫安綱というすぐれた鍛冶がいた」と記されており、実際に鳥取県中部には安綱やその一族(大原鍛冶)の伝承や痕跡が残される「大原」という地名が数カ所あります。

日野郡内では日南町の阿毘縁、日野町の上菅をはじめ「大原」の地名が安綱の伝承とともに残されています。



春日大社での古伯耆展

たたら情報 その1 「鉄穴流し」

たたら製鉄で原料として使われる砂鉄は「鉄穴流し(かんなながし)」という方法で集められていました。

この鉄穴流しは、山肌を削って土砂を水路に流し、中に含まれる砂鉄を採取するという方法で行われます。この流した土砂に含まれる砂鉄の割合がわずか1〜2%だったことから、長い年月で地形に大きな影響を及ぼしました。



鉄を持って山を削る人々 (鳥取県立図書館蔵)



日野川流域に流れ出た砂は、約2億5千万立方メートルとも試算されており、この土砂を、今の米子市の全域に均等に積み上げると約1.9mもの高さになる膨大な量です。

たたら情報 その2 「たたら」のことが楽しく学べます!



たたら楽校根雨楽舎
大鉄山師、近藤家の出店として明治元年に建築された古民家に、優れた経営手腕を発揮した近藤家の歴史や、その文書などをパネル解説。文書から当時の「たたら」の実相を紐解くことができます。また、「都合山たたら資料館」として別棟があり、高殿の模型などを展示しています。
【開校】土曜日・日曜日10:00〜16:00
※冬季(12月〜3月)は休校
【場所】日野郡日野町根雨645(日野町公舎)



たたら楽校大宮楽舎
かつて「印賀鋼」として名声を極めたその主産地、日南町大宮地域に平成21年に開設したガイダンス施設。たたらの原理や鉄の歴史、地元で伝わる「八岐大蛇神話」などについてパネル解説。
【開校】月曜日〜金曜日 10:00〜16:00
【場所】日野郡日南町印賀1516

その他、「伯耆国たたら顕彰会」の公式サイト「たたらNavi」に詳しい奥日野たたらの情報が掲載されています。【公式サイト】<https://www.tatara-navi.com>

この秋の主な刀剣・たたら関連イベント

「古伯耆物の系譜〜伯耆における刀剣の歴史〜」展

この春、奈良の春日大社で開催された安綱・古伯耆展で展示されていた大神山神社(米子市)所有「太刀 無銘安綱」をはじめ、伯耆で制作された太刀や「短刀 宮入行平作」を含めた8振の刀剣と印賀鋼、刀剣制作工程用具一式などが展示されます。
【会場】日南町美術館(日南町霞)
【期間】令和2年9月25日(金)〜10月11日(日)
【主催】鳥取県



ミニたたら操業体験

火入れから砂鉄投入体験、鋸出しまでを行う「ミニたたら操業体験」を大山山麓と日野川流域の自慢の美味しい恵みが集まる「つながるマルシェ」会場で実施します。
【会場】つながるマルシェ会場(米子市角盤町 ひまわり駐車場)
【期間】令和2年10月17日(土)10時〜15時
【主催】鳥取県日野振興センター、伯耆国たたら顕彰会



「郷土のたたらと刀剣の歴史」展

鳥取県西部ゆかりの刀匠「森脇正孝」の刀剣と県西部から出土した古墳時代以降の刀剣・たたら関連品を中心とした刀剣展です。
【会場】米子市立山陰歴史館(米子市中町)
【期間】令和2年10月31日(土)〜11月29日(日)
毎週火曜日休館(※11/3開館)
【主催】刀剣・たたら関連事業実行委員会



※新型コロナウイルス感染症などの影響により、開催内容が変更となる場合があります。

にちなん中国山地林業アカデミー「卒業生の今」

「日南町立林業アカデミー（通称・にちなん中国山地林業アカデミー）は全国初の町営の林業学校として平成31年4月に開校しました。今回、第1期卒業生7名の中から日南町内の林業会社で頑張っておられる2名の「卒業生の今」取材しました。



同校の校舎は、日南町多里の旧多里保育園を改修したもので、演習林は、全国最大規模の668ヘクタールの広さです。実践的な現場研修による技術と知恵、専門家の講義による最新の林学と教養を学ぶことができ、

林業の担い手として即戦力となる人材を育成しています。

林業アカデミーの第1期生は専任指導員の指導のもと、機器の手入れ、作業道の草刈、伐採、下刈り、雪おこし作業、枝打ち、間伐、ドローンの活用、最新のICT林業、マーケットインによる林業経営などなど、充実した1年間のカリキュラムと複数の林業会社でのインターンシップを終えて今年度から林業の現場に就業しています。



アカデミー第1期生の卒業式

地域で頑張る アカデミー第1期生



日南町森林組合
こだに まさひろ
小谷昌央さん
(28歳 日南町出身)



間伐作業の現場でフォワーダによる集材運搬を担当しています。インターンシップでは気長に待っていただきましたが、当然、仕事では手際の良い作業が求められます。木材の積み込み積み下ろしの能率が上がり苦勞していますが、だからこそ上手になりたいという思いがとて強くなりました。グラップルで木材をフォワーダに積み込み、運搬して土場に積み下ろすまでのタイムを自分で計り、効率が良い積み方や仕上げを試行錯誤しながらやっています。先輩に指導を受けながら、達成感のある仕事をするためにこれからも頑張ります。

勤務先の先輩からの一言 仕事の段取りや効率のよい順序を把握してくれます。あせらずゆっくり、ひとつずつしっかりできるようになってもらえればと思っています。



株式会社神戸上農林
しおた りん
塩田凜さん
(20歳 米子市出身)



間伐作業の現場でチェーンソー伐倒とフォワーダでの集材運搬を担当しています。チェーンソーで木を伐る時は、どの方向が集材しやすくなるのかを自分で決めています。伐倒方向を間違えるとその後の作業効率が悪くなるので注意しています。早く慣れて生産性を上げたいと思っていますが、本当に全てがまだまだです。ただ、間伐してすっきりした山を見ると嬉しいです。今後はハーベスタでの造材や路網開設など、なんでもできるようになりたいです。先輩は日南町林業まつりのグラップル選手権の上位入賞者です。自分も重機の運転が好きなのでいつかは挑戦したいです。

勤務先の先輩からの一言 仕事を覚えてなんでもできるようになってほしい。まずは体力をつけて山歩きについてこられるように頑張ってください。



【位置図】

現場周辺や工事車両が通行する道路の近くにお住いの皆様には、大変、御不便をおかけしますが、御理解と御協力をよろしくお願いします。

◇平成7年の阪神淡路大震災では、橋の倒壊、落下等、多くの被害が発生しました。特に、昭和55年以前の古い設計基準を適用した橋梁に被害が多くありました。鳥取県では、大規模地震時に被災地の孤立を防ぐとともに被災地への救援活動や緊急物資の輸送路を確保するため、橋の倒壊、落下等が発生しないように耐震補強を行っています。

◇「南大山大橋」は、江府町の防災基地と国道482号を結ぶ、防災上重要な橋ですが、昭和44年に架けられたため、古い設計基準で作られており、防災道路ネットワーク上、十分な構造となっていないことから、災害時の救援活動や緊急物資の輸送に影響が出る可能性があります。そのため、今回、耐震性能の向上を図るとともに、あわせて現在の14t車までの車両制限から大型車(25t車)の通行も可能となるように補強工事を実施しています。



作業風景(当て板補強)



全景写真

「防災機能の向上を目指して」
「南大山大橋」の
補強工事を実施しています

故郷江府町のために

江府町建設課 宮本 佑実さん
(日野郡江府町下安井)



県外から故郷の日野郡に戻り、地域のことを思い活躍している若者がいます。江府町出身で現在江府町役場に勤務する宮本佑実さんもその一人。宮本さんは高校まで江府町で過ごし、県外の大学で建築を学んだあと県外の企業に就職しました。しかし、故郷江府町に戻ることを決意。この春から建設課で道路維持担当として町民の皆さんの安全のため日々奮闘しています。

宮本さんは役場の仕事以外にも町のためになにかできないかと考え、大学で学んだ建築の技術を活かし、江府町のこれからのまちづくりのシンボルとなる新庁舎の模型を作成することを思い立ちました。4月下旬から休日を利用して、実際の設計図を見ながらコツコツと製作を進め、縮尺200分の1の模型が6月上旬に完成しました。新庁舎の特徴であるアーチ型の屋根も正確に再現。各部屋の細かい部分まで忠実に作りこまれた見事な作品は、総製作時間約70時間もかかったそうですが、江府町の将来に思いを馳せながら楽しんでできたそうです。

宮本さんは町職員として、そして地域の若者として江府町を賑わいのあるまちにしていくことが目標とのこと。一旦は地域を離れていた若者が故郷に帰ってきて、地域のことを思い、目標に向かって活躍する姿は地域の皆さんに元気を与えています。



宮本さんが製作した新庁舎の模型

屋根を取ると執務室などが正確に再現されています。

日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072

日野川の源流と流域を守る会
日野川源流の碑がピカピカになりました

Before



私をキレイにして早く……誰かあ……

日野川の源流と流域を守る会は、日野川の自然を守り、恵まれた環境を次世代に引き継ぐとともに、源流と流域の自然を守り、日野川を日本一美しい川にすることを目的として平成14年に設立されました。

平成23年には、第13回日本水大賞厚生労働大臣賞の受賞を記念して、日野川の水源地である日南町新屋の奥深い山の中に「日野川源流の碑」を整備しました。しかし、月日が経つこと早10年!!趣が深まると共に、碑の周辺が荒れてきてしまいました……。

そこで、このたび約1ヶ月の日数をかけて、碑の周辺整備と清掃をおこなった結果、劇的なビフォーアフターとなりました♪

例年開催している会員向けの秋のイベント「日野川源流探訪」でお披露目の予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で残念ながら開催中止となりました。来年度に源流探訪を行いたいと考えておりますので、是非ご入会いただき、キレイになった碑を訪ねてください。



ゴールを目指し険しい道を進むこと約1時間!!そこから見えるのは、玉虫色に光り輝く「日野川源流の碑」

After



私生まれ変わったわとてもキレイになったでしょう!!

日野川の源流と流域を守る会では「会員大募集中」です。お申し込み方法や会費などについては、下記問い合わせ先までお願いします。

日野川の源流と流域を守る会事務局(日野振興センター日野振興局内 担当:中村) 電話:0859-72-2081 FAX:0859-72-2072

地域と農業の未来に向けて

～日野郡中山間営農ネットワーク協議会の取組～

日野郡では、核となる農業法人等が互いの連携・共助を目的に「日野郡中山間営農ネットワーク協議会(会長:古都久志、21経営体)」を設立しています。

昨年12月には研修会を開催し、4人の会員が「農地集約化と農業基盤」や「人材確保と後継者」といった未来の農業を見据えた取組を発表しました。

この発表を契機に日南町茶屋地区では、3法人が中心となって農業委員のコーディネートのもと農地活用(人・農地プラン)の話し合いを開始しました。また、阿毘縁や多里地区でも若い会員等が地域の話合いをリードしています。こうした活動が、法人間の連携や経営する農地の集約化、基盤整備などに繋がり、地域のかかえる課題の解決に結びつくものと期待されます。

協議会では、「条件不利な圃場の解消と農地活用」「次世代農業を担う後継者の確保・育成」「ドローンやラジコン除草機などスマート農機の活用」など各会員の取組を進めるために意見交換や研修を重ねていく計画です。



令和2年7月 茶屋地区人・農地プラン座談会 第5期中山間直協定の範囲や農地基盤の困りごとについて話し合いました。



平成30年6月 現地研修会 ラジコン除草機の実演を行いました。会員の関心が高く、郡内の導入が進みました。

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090

腰痛軽減と予防!

腰ラクラク体操のススメ

この体操は、白ねぎ生産者の6割を超える方に腰痛の悩みがあることから、平成30年に県と鳥取大学が白ねぎ生産者の腰痛について詳細な調査を実施した結果をもとに考案されました。今年から白ねぎ生産者だけでなく、腰痛に悩む多くの方を対象に、普及を始めています。

～ぜひ作業前や腰が疲れたときに実践してください～

これだけ!体操

- ①膝を伸ばして、お尻に両手を当てる
- ②息を吸って鼻から息を吐きながら同時に、お尻を前方に押し、腰を反らして約3秒間姿勢を保つ
- ③1～2回繰り返す

【注意】体操をして痛みやしびれが生じる場合は、中止してください

白ねぎ指導会の前に皆で体操を行いました!



白ねぎ現地指導会での周知活動の様子(日野町)

息を吸って鼻から吐きながら行う

アゴを引く

腰ではなく、骨盤を押し込む

足は肩幅よりやや広めに開く

体操の詳細は以下のURLから確認できます
<https://www.pref.tottori.lg.jp/292693.htm>

- ◎腰ラクラク 白ネギ体操(白ねぎ作業改善プロジェクトチーム発行)及び、森田鉄二理学療法士指導資料から引用
- ◎これだけ体操:松平浩 監修 東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター 運動器メディカルリサーチ&マネジメント講座特任教授

日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2026 FAX:0859-72-2090

新型コロナウイルス感染症 ～暮らしの中で気を付けるべきこと～

鳥取県米子保健所長
藤井 秀樹

経済活動の再開に伴い全国的な感染が広がり、鳥取県内でも新型コロナウイルス感染症の陽性者が2ケタに達しました。私たちが日頃の生活の中で注意すべきことは何か。医療現場や患者さんの状況を把握し、鳥取県西部の感染症対策の指揮を取る、米子保健所の藤井所長にお話を伺いました。



職員と協議を行う藤井所長(向かって左)

Q 今、藤井所長が取り組まれていることや、課題を教えてください。

A ①**感染症制御の最前線を担う米子保健所**
新型コロナウイルス感染症に対する電話相談窓口を24時間体制で開設しています。このほか、PCR検査の調整、検体搬送、今後の感染拡大に備えての医療機関との調整なども行っています。

②**検査体制強化と病床の確保が重要**
現在PCR検査を受けるには保健所が調整していますが、さらなる感染の拡大に備えて、検査体制を充実していく必要があります。そのため、開始時期は未定ですが、各医療機関がPCR検査などを行える機器の整備を予定しています。

また、感染された方を受け入れる病床を確保することも重要ですが、そのためには、他の病気の患者さんに移動していただく必要があります。新型コロナ感染症の患者さんが増加すると、通常の医療提供が影響を受けることも懸念されます。

Q 観光や仕事など、人が移動することにより、新型コロナウイルスが広がってしまうことを危惧する意見もあります。

A ①**感染予防策の徹底を**
人が移動し、交流が活発になると感染は広がります。都道府県間の移動が再開されて、徐々に感染者が増えてきました。3密(密集、密接、密閉)を避ける、マスクを着用する、また、商業施設ではガイドラインを遵守いただくなど、感染予防策を徹底いただくことが大切です。

②**会議や会合はリモートで**
今回の新型コロナウイルス感染症の広がりでは、在宅勤務の動きも広がりました。我々は新型コロナウイルス感染症を担当する医療機関との会議もWebで行うようになりました。参加者も、移動の時間がなく参加しやすいので、毎週負担感なく実施できています。

Q 暮らしの中で気を付けるべきことを教えてください。

A ③**3密を避ける**
やはり3密を避けることです。親しい方やお知り合いとの会食であっても飛沫感染した例が発生していることから、会食の際も飲食以外の時はマスクを着けることも大切です。マスクを着用できないときは、相手との距離を保つ、換気などの対策をしっかり取るなどの工夫も必要です。

日野振興センターからのお願い

医療関係者、感染された方や御家族への配慮を忘れずに!!

- ◆医療関係者の皆さんは、無私の心で未知のウイルスに立ち向かい、患者さんや社会を救うために尽力しています。その勇気と努力に、心からのエールを送りましょう!
- ◆また、ウイルスには誰でも感染する可能性があります。県のウェブページなどから正確な情報を確認し、不確かな情報に惑わされることなく、冷静な行動をとっていただくようお願いいたします!

+ **新型コロナウイルス感染症が心配な時は、かかりつけ医またはこちらへ御相談ください。**

西部地区発熱・帰国者・接触者相談センター(米子保健所内) 電話:0859-31-0029 24時間対応(土日、祝日を含む)

☎日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2086 FAX:0859-72-2072



表紙写真

タイトル:スリル満点の川下り

撮影者:日野町 高橋 八郎 氏(写友会ひの)

撮影者コメント:日野町を流れる一級河川の日野川では、春は4月・5月、秋は10月にラフティングで川下り(4km)を楽しめます。激流やよどむ淵、水しぶきをかぶり堰を下る個所などスリル満点。大自然を満喫することができます。こ寝覚峡は、奥日野県立公園の一角で風光明媚。小鳥のさえずりも、川面から山中を眺めるのも格別です。
☎日野町教育委員会 電話:0859-72-2107